



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 サトレストランシステムズ株式会社

コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員副社長 (氏名) 重里 政彦

TEL 06-7222-3101

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	28,248	24.5	996	32.4	1,157	57.3	754	57.5
26年3月期第3四半期	22,686	17.5	752	53.5	735	74.9	479	135.9

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 811百万円 (51.2%) 26年3月期第3四半期 536百万円 (131.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	26.75	—
26年3月期第3四半期	16.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	24,571	10,294	41.4	360.21
26年3月期	23,816	9,567	39.6	334.56

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 10,161百万円 26年3月期 9,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	14.5	1,100	23.7	1,200	41.8	780	51.8	27.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	28,209,080 株	26年3月期	28,209,080 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	122 株	26年3月期	122 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	28,208,958 株	26年3月期3Q	28,208,987 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は増収増益を達成し、売上高が前年同期比55億61百万円(24.5%)増加の282億48百万円、営業利益は前年同期比2億43百万円(32.4%)増加の9億96百万円、経常利益は前年同期比4億21百万円(57.3%)増加の11億57百万円、四半期純利益は前年同期比2億75百万円(57.5%)増加の7億54百万円となりました。売上高につきましては、天候不順の影響等による客数減少が見られたものの、平成25年7月に子会社化した株式会社フーズネットの業績を取り込んだことが大きく寄与し、増収となりました。収益面につきましては、増収に加え販管費の適切なコントロールによる効果と、為替差益の影響等により増益となりました。

当社グループは「最も顧客に信頼されるレストランの実現」を目指し、諸施策を積極的に推進するとともに、新中期経営計画の基本方針「100年企業として必要不可欠な社会的インフラになること」を実現すべく、ファストカジュアル業態の出店加速や既存業態の収益力向上に向けた取り組みを続けてまいりました。具体的な施策といたしましては、株式会社フーズネットとのシナジー効果創出に向けた取り組みとしまして、平成26年10月より物流機能を統合し、サトグループ全体のロジスティック一元化による効率化を進め、物流コストの削減を実施いたしました。

また人事施策としましては、従業員のライフスタイルに合わせた多様な働き方を選択可能とすることで、すべての従業員が能力を最大限に発揮できる環境構築を目指した人事制度改革の一環としまして、平成26年10月1日より短時間勤務可能な「短時間正社員制度」を導入し、社会保険適用パートと契約社員約300名を正規雇用社員として採用いたしました。この制度変更により、優秀な人材の流出を阻止し、働く意欲の創出と正規雇用化した女性の活用を推し進めることが可能となり、更なる従業員及び顧客満足度向上の効果が図られることを期待しております。

店舗出店施策としましては、当社グループは新中期経営計画の達成に向けて、出店施策を最重要課題と位置づけ、出店目標の達成に向けた取組みを推進しております。新中期経営計画初年度にあたる当連結会計年度の出店予定数は、直営店とF C店合計で35店舗を計画しており、当第3四半期連結累計期間の出店実績としましては、「和食さと」業態で直営1店舗、「天井・天ぶら本舗 さん天」業態で直営3店舗、「にぎり長次郎」業態で直営1店舗、「かつや」業態で直営1店舗、F C 4店舗の計5店舗、全業態合計で10店舗をオープンいたしました。なお、上記出店済み店舗に加え11店舗の出店契約をすでに締結しております。(平成26年12月末日現在)

海外展開といたしましては、経済成長著しいタイ市場にて、より多くの方々に本物の和食をリーズナブルな価格で提供することで、豊かな食文化に貢献することを目指し、平成26年10月に「和食さと」J-PARK店をオープンいたしました。以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の直営店舗数の合計は286店舗(対前年同期比12店舗の増加)となりました。その内訳は、「和食さと」業態198店舗、「すし半」業態13店舗、「さん天」業態9店舗、「にぎり長次郎」業態51店舗(「CHOJIRO」業態含む)、「都人」業態1店舗、「にぎり忠次郎」業態2店舗、「かつや」業態12店舗であります。なお、当社グループのF C店舗数は、「都人」業態20店舗、「かつや」業態11店舗の合計31店舗、海外店舗数は、台湾3店舗、インドネシア1店舗、タイ1店舗の合計5店舗で、国内外のグループ総店舗数は322店舗となりました。

各業態の営業施策といたしましては、「和食さと」業態にてご好評を頂いているしゃぶしゃぶ食べ放題「さとしゃぶ」のブラッシュアップとして、選べる出汁の変更や70品以上の一品料理まで食べ放題となるプレミアムコースのメニューの入れ替えを継続して行うと共に、「和食さと」公式キャラクター「わっしょくん」を用いた販促施策も継続して実施しました。「すし半」業態におきましては、ずわいがに、寒鰯等の旬の素材を使用した「すし半」ならではの本物感・上質感を追求した季節感あふれるフェアを実施し好評を頂きました。また、「にぎり長次郎」業態におきましては、お客様に「旨い!」と言っていただける事を最大の喜びとし、新鮮なネタを使用した旬メニューを実施するとともに、6店舗にて改装を行っております。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントの業績に関する記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、245億71百万円(前連結会計年度末比7億55百万円の増加)となりました。

(資産)

流動資産は、78億60百万円(前連結会計年度末比5億45百万円の増加)となりました。これは主に、現金及び預金の増加1億79百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億73百万円などによるものであります。

固定資産は、167億7百万円(前連結会計年度末比2億11百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産のその他(純額)の増加2億24百万円などであります。

(負債)

流動負債は、72億5百万円(前連結会計年度末比3億53百万円の増加)となりました。これは主に、買掛金の増加3億96百万円などであります。

固定負債は、70億72百万円（前連結会計年度末比3億25百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の減少4億50百万円などであります。

（純資産）

純資産は、102億94百万円（前連結会計年度末比7億26百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月12日の決算短信に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,533,179	5,712,829
売掛金	485,558	608,313
商品	34,632	37,537
原材料及び貯蔵品	644,900	818,515
繰延税金資産	236,864	149,646
その他	380,735	534,511
貸倒引当金	△620	△785
流動資産合計	7,315,250	7,860,568
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,629,133	2,520,836
土地	4,742,506	4,742,506
その他（純額）	1,783,152	2,008,081
有形固定資産合計	9,154,792	9,271,424
無形固定資産		
のれん	1,296,192	1,228,760
その他	792,918	855,512
無形固定資産合計	2,089,110	2,084,272
投資その他の資産		
投資有価証券	669,801	763,923
長期貸付金	635,831	625,081
差入保証金	3,130,625	3,049,616
繰延税金資産	479,838	462,920
その他	351,650	464,900
貸倒引当金	△16,295	△15,130
投資その他の資産合計	5,251,451	5,351,312
固定資産合計	16,495,354	16,707,009
繰延資産	5,863	3,901
資産合計	23,816,468	24,571,479

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,101,403	1,497,878
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,613,496	2,509,018
未払金	1,536,704	1,586,732
未払法人税等	234,846	129,579
賞与引当金	413,336	216,800
その他	851,970	1,165,277
流動負債合計	6,851,757	7,205,285
固定負債		
社債	150,000	50,000
長期借入金	5,408,383	4,957,678
再評価に係る繰延税金負債	319,828	319,828
繰延税金負債	100,769	95,305
役員退職慰労引当金	31,403	31,403
資産除去債務	454,910	470,096
その他	931,941	1,147,848
固定負債合計	7,397,236	7,072,159
負債合計	14,248,993	14,277,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,361,756	6,361,756
資本剰余金	2,810,575	2,810,575
利益剰余金	779,318	1,449,195
自己株式	△85	△85
株主資本合計	9,951,564	10,621,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,106	184,549
土地再評価差額金	△644,981	△644,981
その他の包括利益累計額合計	△513,874	△460,432
少数株主持分	129,785	133,025
純資産合計	9,567,474	10,294,034
負債純資産合計	23,816,468	24,571,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	22,686,190	28,248,120
売上原価	7,348,682	9,634,542
売上総利益	15,337,507	18,613,577
販売費及び一般管理費	14,584,673	17,617,136
営業利益	752,833	996,440
営業外収益		
受取利息	8,482	9,550
受取配当金	12,419	15,182
受取家賃	69,342	76,501
為替差益	50,143	223,639
雑収入	54,212	55,082
営業外収益合計	194,599	379,957
営業外費用		
支払利息	112,317	117,527
不動産賃貸費用	52,983	62,900
雑損失	46,132	38,075
営業外費用合計	211,433	218,504
経常利益	735,999	1,157,893
特別利益		
固定資産売却益	3,000	4,129
特別利益合計	3,000	4,129
特別損失		
固定資産除却損	24,661	16,015
賃貸借契約解約損	1,365	2,400
投資有価証券評価損	6,203	26,084
その他の投資評価損	2,250	—
特別損失合計	34,479	44,500
税金等調整前四半期純利益	704,519	1,117,522
法人税、住民税及び事業税	146,426	277,939
法人税等調整額	82,084	81,839
法人税等合計	228,510	359,778
少数株主損益調整前四半期純利益	476,008	757,744
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,113	3,240
四半期純利益	479,122	754,503

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	476,008	757,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,422	53,442
その他の包括利益合計	60,422	53,442
四半期包括利益	536,431	811,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539,544	807,946
少数株主に係る四半期包括利益	△3,113	3,240

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。